

2023年3月23日

ヘルスケアファンド「トリニティヘルスケアⅢ投資事業有限責任組合」を組成

この度、当社では2023年3月20日に各投資家からの出資を募り、総額250億円のヘルスケア特化型ファンドからの投融資を開始いたします。

2007年の当社創設以来、今般4つ目のヘルスケアファンド組成となり、ファンド累計では800億円のリスクマネーの資金提供となります。ヘルスケア特化型のファンド運営としては、業歴・投融資の件数、規模ともに業界においてのリーディングカンパニーとして本組成後も、当社の理念である「未来の医療へ地域医療における持続可能な社会基盤を構築する」ために、積極的な投融資活動を実践してまいります。

運営を開始する「トリニティヘルスケアⅢ投資事業有限責任組合」組成に際して、当社としての取り組みについては足許における同業界の課題、2025年・2040年問題（以下、「医療構造の問題」という。）を見据えた将来的に顕在化する問題に対する構造改革・課題解決を図ることを企図しております。今までのヘルスケアファンド（3つのヘルスケアファンド）を通じて、足許のコロナ禍における医療業界の業績悪化・事業改善、新病院建設、老朽化している病院の改修・移転建て替えに伴う多様なファイナンススキームによるリスクマネーの提供を行ってまいりました。医療構造の問題を踏まえ医療費の抑制が進む中、医療機能分化の促進、地域医療の再編・統合、医療・介護・福祉の横断的な連携化が進行しており、差別化が遅れている従来の病院単体での事業継続では医療構造の問題の解決は難しいといえます。地域医療において地域医療連携推進法人の活用や、医療・介護・福祉の面的再編・垂直統合が必要となる時代に突入してきております。地域医療圏における統合化による広域な医療法人の経営・運営体制の構築が必要な時代といえます。

また、日本における少子高齢化による波は、医療供給体制における人材不足、高齢化に伴い事業継続に必要な医療経営人材の不足が同業界においても今後更に広がってまいります。医療法人の経営・運営における人的支援の新たな仕組みを基盤構築する必要がございます。加えて、日本においては中小規模の医療法人が多いなか、後継者不足による事業承継問題も顕在化している現況といえます。このような同業界における大きな医療構造の問題、事業課題に対して、当社としてファンドを通じて「経営支援×金融支援」を実行してまいります。

この度のヘルスケアファンドを通じて、不動産を活用したストラクチャードファイナンス・プロジェクトファイナンスの提供と、コーポレートファイナンスを基点としたメザンファイナンス（相対劣後性、絶対劣後性）、その他リスクマネーの提供を図ってまいります。約16年におけるヘルスケア業界特化型での投融資活動の実績を踏まえて、既存の枠組みに囚われない新たなファイナンススキームを常に提供することを企図して当該ファンドにおいて投融資活動を図ってまいります。

【ファンド概要：トリニティヘルスケアⅢ投資事業有限責任組合】

商号	トリニティヘルスケアⅢ投資事業有限責任組合
	Trinity Healthcare Ⅲ Investment Limited Partnership
無限責任組合員	ヘルスケアマネジメントパートナーズ株式会社
有限責任組合員	三菱HCキャピタル株式会社
	株式会社日本政策投資銀行
運用金額	250 億円
設立	2023 年 3 月

【参考資料】

三菱HCキャピタル株式会社 <https://www.mitsubishi-hc-capital.com/>株式会社日本政策投資銀行 <https://www.dbj.jp/news/>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

ヘルスケアマネジメントパートナーズ株式会社
執行役員兼ストラクチャード・ファイナンス部長 相羽 (aiba@hcmp.jp)
投資管理部長 田嶋 (tajima@hcmp.jp)
Tel.03-6860-5501